

同窓会 山脈

いし|かわ|高|校



飯田高校 〈上〉

県立飯田高校は明治45(1912)年に創立した旧制の珠洲郡立実科高等女学校と昭和4(1929)年に創立した旧制の飯田中学校を前身とする。昭和23(1948)年4月、学制改革により両校が統合する形で男女共学の普通高校となった。飯田高女、飯田中、飯田高と3代にわたり、人材を送り出し、卒業生は延

校風を語る

飯田高校同窓会長



森井 洋光氏
珠洲市議・元議長
(昭和42年卒・高19回、珠洲市若山町)

奥能登の進学校だが、文化、スポーツ活動も活発で

「文武両道」は旧制中学時代からの伝統である。校訓の「清・慎・勤」は体を鍛え、心身ともに清らかであること

規律正しい伝統継承

となりを唱えているが、中でも規律、礼儀正しさは伝統であろう。

総合学科があり勉強だけではなく実業高校の良さも

で活躍している同窓生も多い。過疎

あると感じる。私の在学中、英語の田中先生が面白く名物先生だった。画家も数多く輩出し、芸術文化の分野

政官・経済界

珠洲市と鳳珠郡にある唯一の県立普通高の性格から地元珠洲市役所をはじめ各種団体、企業、商店主らの半数以上がOBといつて過言でない。平成8年7月から平成18年5月まで3期にわたり珠洲市長を務めた貝蔵治(高8・故人)が代表格。元同市助役の木之下明(高9)ら3役経験者も少なくない。

テスクラロス名誉市民の異色の経歴を持つ。市議では7期目の森井洋光(高19)が議長経験者で、飯田高同窓会長。同期の上野良夫(高19)や教育民生委員長の中板秀一郎(高20)、北野進(高30)がOB。能登町議では元内浦町収入役の椿原安弘(高12)、石岡安雄(高23)、元内浦町長・金七龍太郎(中8)の長男で松波酒造を営む金七祐太郎(高36)がいる。

元警視庁捜査一課長も中央省庁では、経産省大臣官房会計課課長補佐の清水行生(高31)、同省九州産業局総務企画部長の鹿野郁夫(高28)、近畿農政局統計調整課長の平哲也(高32)、日本年金機構本部人事管理部参事役の立田英人(高37)らが現職。OB組には、元警視庁刑事で鑑識課長や捜査一課長を歴任し敏腕を振るつた光真章(高18)

は退官後、三井住友VISAカードのセキュリティ管理部参事に就任、奥能登応援団事務局長を務める。後輩の乙丸秀次(高21)は警視庁を退職し同応援団を世話する。池上権八(同)は警視庁在職中でノトキリシマツジ保存会

珠洲市議会で多数占める

元石川県議の塚崎康彦(高22)は北東ブラジル富士電機社長を歴任、ブラジルのモン

現在の珠洲市職員幹部には総務課長の吉森一夫(高25)、企画財政課長の金田直之(高

経済界では、珠洲商工会議所前会頭の説田情慧(中8)、現会頭で今井商店社長の今井欽次(高18)と歴代重職を担う。現副会頭の藤野裕之(高17)は、石川県内唯一の焼酎専業メーカーである日本醗酵化成の社長で珠洲市固定資産評価審査委員長。同じく副会

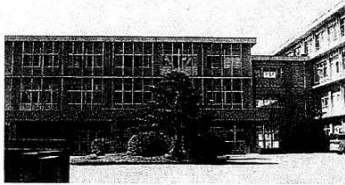
母校の現況

設置学科 普通科(3クラス・定員120人)
総合学科(2クラス・同80人)
所在地 〒927-1213
珠洲市野々江町1-1
☎0768-22-0693 Fax0768-82-4748
Eメール iidaxh@m1.ishikawa-c.ed.jp
現校長 坂尻忠秀
同窓会事務局(学校内・電話番号同じ)

べ約1万3千人を数える。

珠州市、鳳珠郡を中心とした地域住民の要請により誕生している。奥能登を代表する進学校だが、過疎化による高校再編整備に伴い、平成20(2008)年に1学年が普通科3クラス、総合学科2クラスのキャリア教育も念頭に据えた「新生飯田高」となった。

飯田高の旧校舎は飯田町吾妻町の旧制飯田中学校の校舎を利用していたが、老朽化に伴い、同校改築促進期成同盟会が発足し、創立60周年記念の昭和49(1974)年に現在地に新築移転した。現校舎は飯田町を一望する風光明媚な「藤林台」にあり、藤の花を校花に、紫をスクールカラーとしている。



飯田高校の現校舎

地元産業に貢献、県外組も

頭の重政靖之(高24)は重政損害保険社長。

常議員では、七輪を製造販売する鍵主工業社社長の鍵主哲

(高36)、川元石材社長の川元

信勝(高25)、飯田港共同店舗

事業協同組合理事長の説田善

二(高22)、谷口建設社長の谷

口永一郎(高28)、浜野水産社

長の浜野博之(高32)、大正2

年創業で和洋菓子の老舗である

メルヘン日進堂社長の日野

知明(高17)は「見附島の月」

で第24回全国菓子大博覧会金

賞など数々の受賞を誇る。

このほか、珠洲スタンプ会

理事長の床坊紡(高14)、珠洲

自動車整備工場社長の北橋優

(高16)、スズドウシヤドウ印

刷社長の平野英明(高19)、宗

玄酒造社長の徳力暁(高20)、

平蔵建設社長の平蔵國政(高

21)、谷野旅館事業主の谷野勝

彦(高22)、能登開発測量設計

センター社長の中塚芳草(高

26)、スズ交通社長の大屋智子

(高32)、大丸社長の大丸高広

(高33)、橋本鉄工建設専務の

橋本英樹(高38)、浜野産業社

長の濱野達也(高42)ら若手

も含め地元で健闘する。

県外では、メガサービス(東

京)会長の明石憲章(中10)、

市町酒店(同)社長の市町日

出忠(高2)、工作機械メー

カーのアマダメトレックス

(神奈川県伊勢原市)の杉島

孝之(高8)、高級革靴企画輸

入卸商社・ロータリー(東京)

社長の笠原英二(高9)は東

京珠洲会の第5代会長に就任

した。厚板精密板金の富田製

テープなどを製造する共同技

研化学(埼玉県所沢市)社長

の浜野尚吉(高18)、元アドバ

ンテスト九州システムズ社長

の松木茂雄(同)、山武ビルメ

ンテナンスカンパニー(東京)

顧問の船本純治(同)、特殊印

刷の万蔵(栃木県足利市)社

長の川本孝一(高20)、宣伝広

告業の総合企画センター(東

京)社長の原憲政(高21)、近

畿日本ツーリスト京都支店長

の北沢達成(高34)らがいる。

(文中敬称略、次回は法曹、教

育、医療福祉ほかを掲載しま

飯田高校99年の歩み

1912年	3月	珠洲郡立実科高等女学校設置認可
(明治45年)	4月	開校式
1924年	4月	県立移管、県立飯田高等女学校と改称
(大正13年)		
1929年	4月	飯田町外6ヵ村組立、飯田中学校認可
(昭和4年)	5月	開校式 旧珠洲郡役所を仮校舎とする
1934年	2月	飯田中学校県立に移管、県立飯田中学校と改称
1935年	3月	飯田町地内に校舎新築落成
1947年	4月	飯田高女、5学年制認可
1948年	4月	学制改革により県立飯田中学校、県立飯田高等
(昭和23年)		女学校を統合、県立飯田高等学校設置
1949年	3月	飯田高女第36回卒業式を挙行、閉校
		飯田中第16回卒業式を挙行、閉校
	4月	普通・農業・商業・家庭の4課程を設置、珠洲郡を
		学区とする総合制高校となる
1951年	4月	募集定員200名となる
	6月	定時制立分校設置
1952年	3月	家庭課程廃止
1958年	11月	旧飯田高女50周年・中学校30周年・高校10周年
		記念式典、図書館落成式
1962年	4月	商業科1学級増、募集定員300名
1963年	4月	県立珠洲実業高等学校発足、本校立分校併設
		となる本校商業科募集停止、募集定員250名
1965年	3月	商業科廃止
1966年	3月	募集定員 普通科250名、農業科45名
1969年	3月	農業科廃止
1974年	4月	珠州市野々江に新校舎完成
	7月	新校舎落成式 本校創立60周年記念式挙行
1979年	8月	旧制飯田中創立50周年記念式典挙行、校門竣工
1981年	10月	第2体育館竣工
1982年	3月	かたらいの広場完成
1983年	6月	「藤林台」記念碑・前庭整備完成
1984年	3月	部室竣工
1992年	4月	40人学級となり募集定員200名(5学級)
(平成4年)		旧制飯田高女創立80周年記念式典、記念碑建立
1994年	3月	「石川県立飯田高等学校」銘石碑建立
1996年	7月	グラウンド改修整備工事完成
1997年	3月	インターネット設定
1999年	3月	「石川県立飯田高等学校」標柱建立
(平成11年)	4月	募集定員160名(4学級)となる
	12月	耐震大規模改修第1期工事(教室棟)完成
2000年	8月	部室(ウエートリフティング練習場)新設
	11月	耐震大規模改修第2期工事(管理特別教室棟)
		完成
2001年	5月	飯田高創立90周年記念式典、記念碑建立、美の回
		廊・衛星放送機器設置
	12月	耐震大規模改修第3期工事完成
2003年	4月	2学期制導入 知の回廊設置
2004年	7月	教室・特別教室(計15室)冷房化
2006年	9月	第1体育館、耐震補強改修工事完成
2007年	9月	第2体育館、耐震補強改修工事完成
2008年	3月	管理棟改修工事により普通教室4室増
(平成20年)	4月	総合学科併設 募集定員200名(普通科120名
		総合学科80名)となる